

チョイソコいながわ 有償実証実験における 事業評価と達成状況について

令和3年（2021年）12月17日

猪名川町



猪名川町マスコットキャラクター
「いなぼう」

有償実証実験における事業評価について

■ 事業評価方法

- 利用者、各事業者及び町が各役割を担い、持続可能な運営を行うためには、明確な評価指標を設け、定期的に検証を行う必要がある。
- 評価指標が達成されない場合は、改善策の検討・実施を行い、目標が達成された場合でも利便性向上に向けた改善策の検討・実施を行う。

■ 事業評価指標の設定

- 持続可能な交通システムの実現に向けて、運行継続・運行内容の見直しの判定を行うために、「運行評価指標」を設定し、以下に示す項目を評価することで、事業としての方向性を検討する。
- なお、具体の目標値等については、別紙のとおり設定する。

1. 運行評価指標

- ・ チョイソコいながわの有償実証実験での運行について評価指標を設定

2. 特別運行評価指標

- ・ 大島地区での平日特別運行、休日特別運行について評価指標を設定

3. 顔認証システムに対する評価指標

- ・ 運賃支払い手法として「顔認証システムを活用したキャッシュレス決済システム」を導入するため、「顔認証システム」の稼働状況に対する評価指標を設定

有償実証実験における事業評価について

1. 運行評価指標

① 利用者数

- ・ 利用状況进行评估するため、「利用者数」を評価指標として設定

② 乗合率

- ・ 乗合交通としての運行状況进行评估するため、「乗合率」を評価指標として設定

③ 収支率

- ・ チョイソコいながわ事業を継続するためには、財政負担により賄われる運行経費の負担状況を示す収支状況も考慮する必要があるため、「収支率」を評価指標として設定

④ チョイソコいながわ会員登録者数

- ・ チョイソコいながわの運行に関する情報が正しく伝わり、その他に移動手段がない等、本当に必要な人が使えるように利用登録しているかどうかを測る指標として、「会員登録者数」を評価指標として設定

2. 特別運行評価指標

① 利用者数

- ・ 利用状況进行评估するため、「利用者数」を評価指標として設定

有償実証実験における事業評価について

3. 顔認証システムに対する評価指標

① 顔認証システム登録者数

- ・ チョイソコいながわの登録者数に対する顔認証システムの登録者割合の状況を把握するために「顔認証システム登録者数」を評価指標として設定

② キャッシュレス決済システム登録者数

- ・ 顔認証システムを活用したキャッシュレス決済システムは、利用者の料金支払いの負担軽減を図るために有効な手法の一つとなる。顔認証システムを活用したキャッシュレス決済システムの稼働状況を把握するために「キャッシュレス決済システム登録者数」を評価指標として設定

有償実証実験における事業評価について

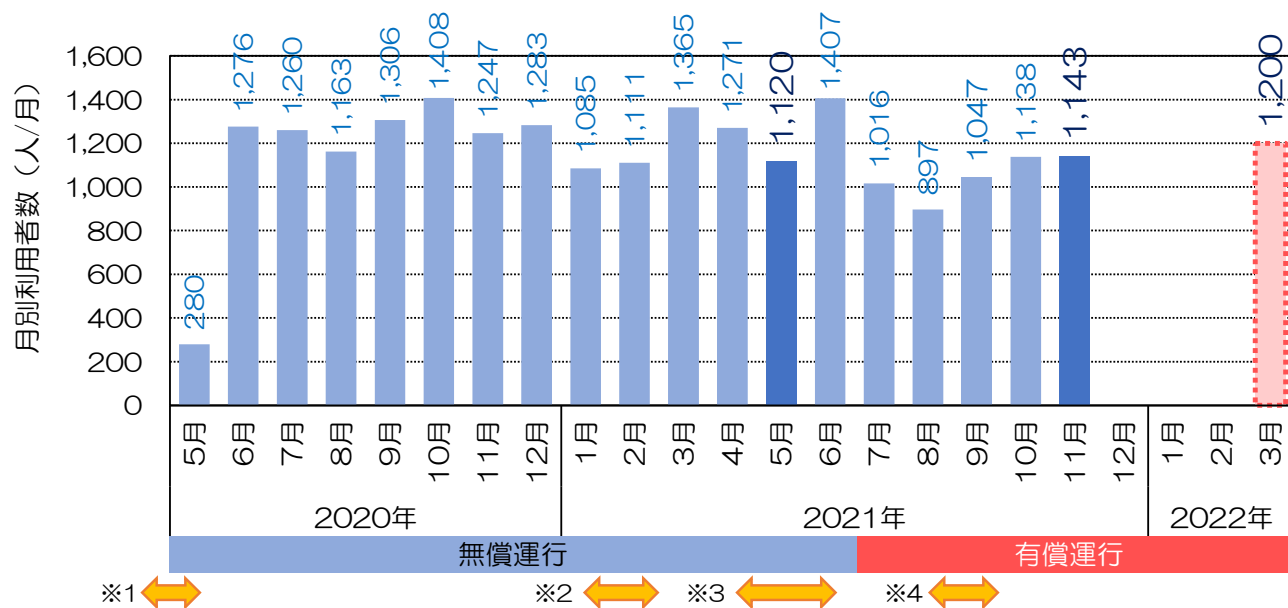
■ 事業評価指標及び目標値の設定

評価指標・項目		実績値 (2021.5時点)	実績値 (2021.11時点)	目標値 (2022.3)
1. 運行評価指標	利用者数	1,120人/月	1,143人/月	1,200人/月
	乗合率	1.95人	1.94人	2.00人
	収支率	— (無償運行による)	17.1%	20.0%
	チョイソコいながわ 会員登録者数	1,011人	1,052人	1,100人
2. 特別運行評価指標	利用者数 (平日特別運行18時～21時)	26人/月	1人/月	60人/月
	利用者数 (休日特別運行7時～21時)	87人/月	44人/月	100人/月
3. 顔認証システムに 対する評価指標	顔認証システム登録者数	25人	91人	100人
	キャッシュレス 決済システム登録者数	— (無償運行による)	52人	40人

有償実証実験における事業評価の達成状況

評価指標・項目		実績値 (2021.5時点)	実績値 (2021.11時点)	目標値 (2022.3)
1. 運行評価指標	利用者数	1,120人/月	1,143人/月	1,200人/月

●月別利用者数の推移（運行開始以降）



：新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言期間

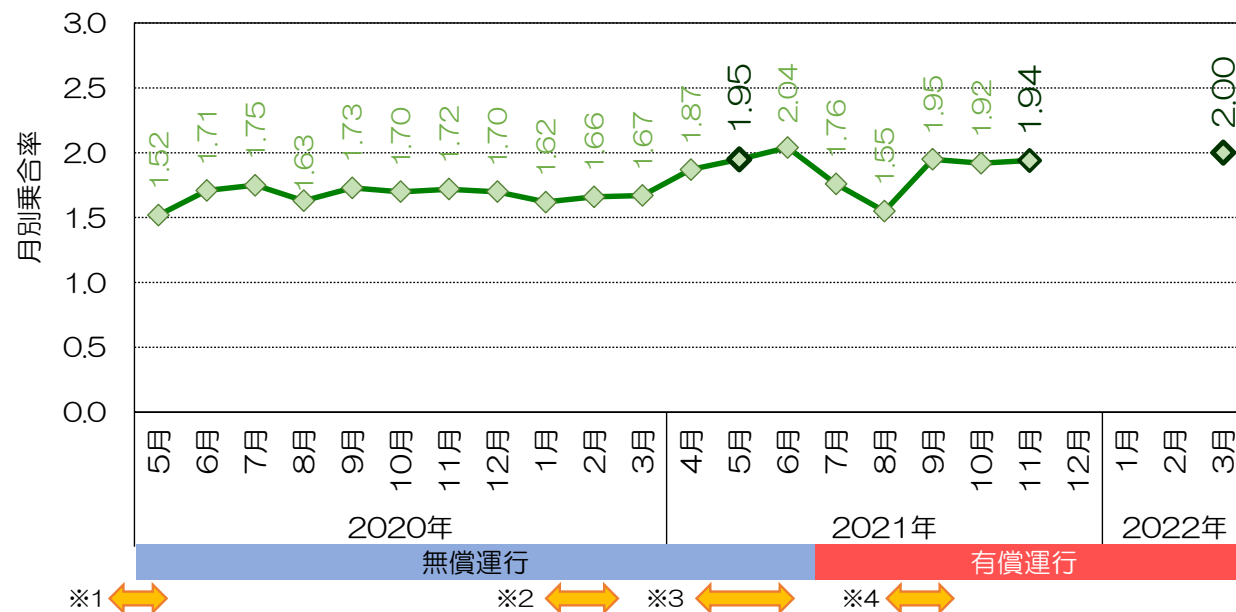
※1：2020年4月7日～5月21日
 ※2：2021年1月14日～2月28日
 ※3：2021年4月25日～6月20日
 ※4：2021年8月20日～9月30日

- 利用者数は、有償化による料金負担に対する抵抗感、大島小学校の夏季休暇及び新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言の発出に伴い、2021年7月から8月にかけて減少したが、9月以降は大島小学校の夏季休暇の終了により、増加傾向となっている。
- 目標値の達成に向けて、引き続き利用促進等を行う必要がある。

有償実証実験における事業評価の達成状況

評価指標・項目		実績値 (2021.5時点)	実績値 (2021.11時点)	目標値 (2022.3)
1. 運行評価指標	乗合率	1.95人	1.94人	2.00人

●月別乗合率の推移（運行開始以降）



：新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言期間

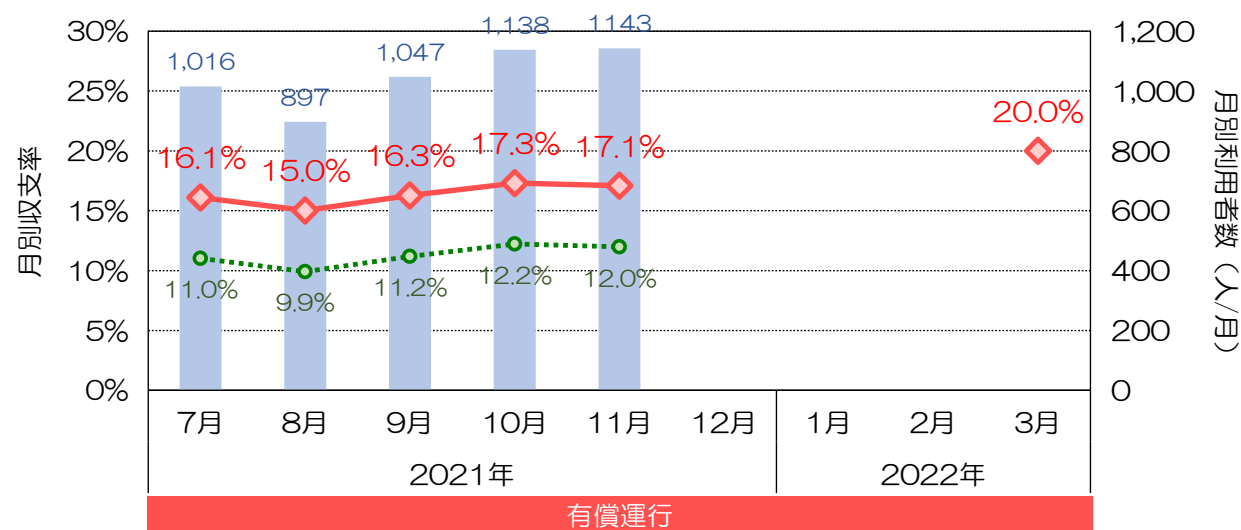
※1：2020年4月7日～5月21日
 ※2：2021年1月14日～2月28日
 ※3：2021年4月25日～6月20日
 ※4：2021年8月20日～9月30日

- 乗合率は、有償化による料金負担に対する抵抗感及び新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言の発出による利用者の減少により、2021年7月から8月にかけて減少したが、9月以降は増加し、11月時点では1.94となっている。
- 目標値の達成に向けて、引き続き乗合利用等の促進を行う必要がある。

有償実証実験における事業評価の達成状況

評価指標・項目		実績値 (2021.5時点)	実績値 (2021.11時点)	目標値 (2022.3)
1. 運行評価指標	収支率	— (無償運行による)	17.1%	20.0%

●収支率の推移（有償運行開始以降）



※1

◆ 収支率（協賛金含む） ●●● 【参考】収支率（運賃収入分） ■ 【参考】利用者数



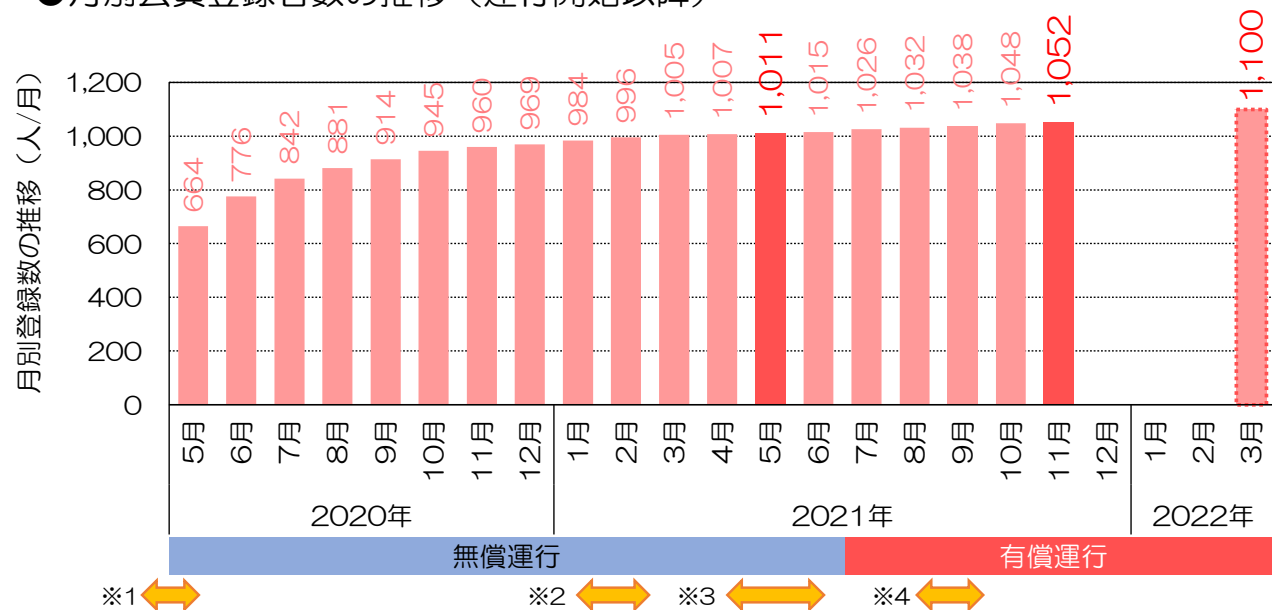
：新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言期間
〔※1：2021年8月20日～9月30日〕

- ・ 収支率は、運賃収入分が約10～11%で推移し、協賛金分が約5～6%となっており、全体の収支率は2021年11月時点で約17%である。
- ・ 目標値の達成に向けて、引き続き利用促進するとともに、新たなスポンサー獲得の推進を図る必要がある。

有償実証実験における事業評価の達成状況

評価指標・項目		実績値 (2021.5時点)	実績値 (2021.11時点)	目標値 (2022.3)
1. 運行評価指標	チョイソコいながわ 会員登録者数	1,011人	1,052人	1,100人

●月別会員登録者数の推移（運行開始以降）



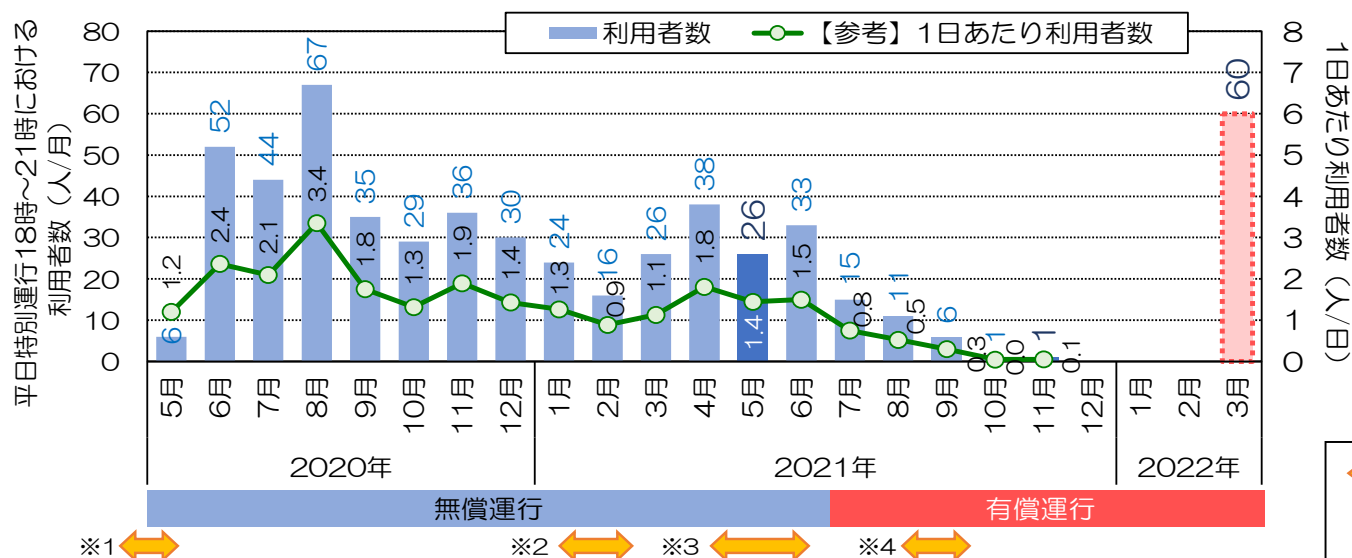
 : 新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言期間
 ※1 : 2020年4月7日～5月21日
 ※2 : 2021年1月14日～2月28日
 ※3 : 2021年4月25日～6月20日
 ※4 : 2021年8月20日～9月30日

- ・ 会員登録者数は、運行を開始した2020年5月から11月頃まで増加し、12月以降は微増傾向にあり、2021年11月時点で1,052人である。
- ・ 目標値の達成に向けて、引き続き新規会員登録者の獲得に向けた取組みを推進する必要がある。

有償実証実験における事業評価の達成状況

評価指標・項目		実績値 (2021.5時点)	実績値 (2021.11時点)	目標値 (2022.3)
2. 特別運行評価指標	利用者数 (平日特別運行18時～21時)	26人/月	1人/月	60人/月

● 平日特別運行18時～21時における利用者数の推移（運行開始以降）



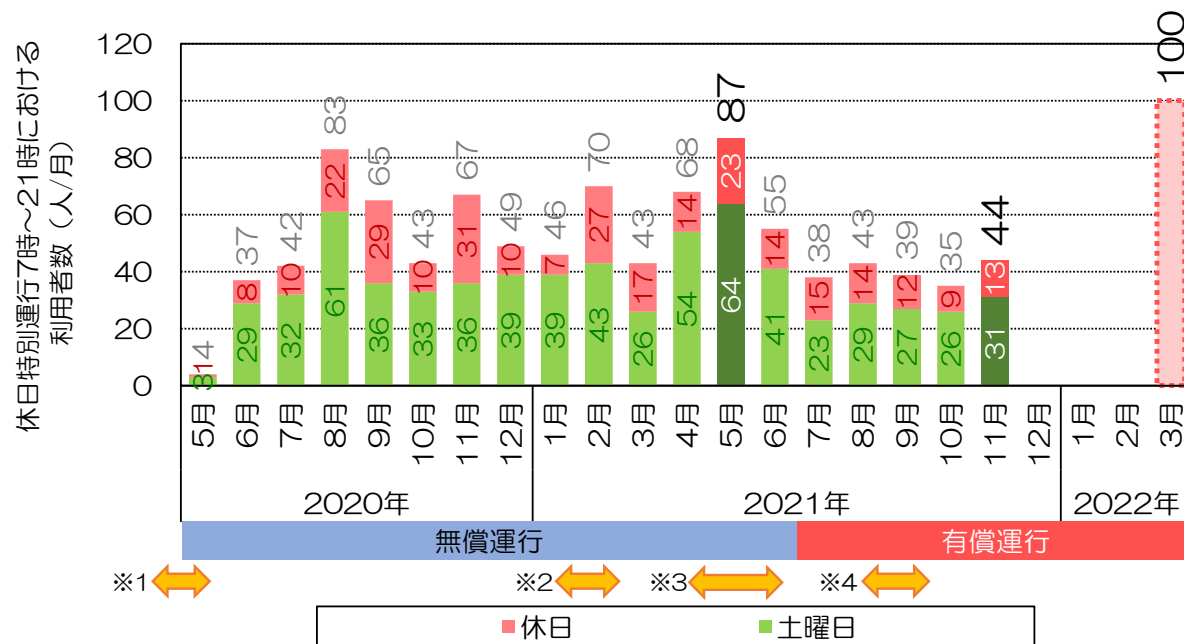
 : 新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言期間
 ※1 : 2020年4月7日～5月21日
 ※2 : 2021年1月14日～2月28日
 ※3 : 2021年4月25日～6月20日
 ※4 : 2021年8月20日～9月30日

- 平日特別運行18時～21時における利用者数は、2020年6月から8月にかけて増加したが、9月以降は概ね20～30人台で推移している。有償運行を開始した2021年7月以降は大きく減少しており、2021年11月時点で1人/月である。
- 利用者が著しく少ない状況にあるため、持続可能な交通システムの実現に向けて、需要規模に応じた運行時間帯の見直しに向けた検討が求められる。

有償実証実験における事業評価の達成状況

評価指標・項目		実績値 (2021.5時点)	実績値 (2021.11時点)	目標値 (2022.3)
2. 特別運行評価指標	利用者数 (休日特別運行7時～21時)	87人/月	44人/月	100人/月

●休日特別運行7時～21時における利用者数の推移（運行開始以降）



↔：新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言期間

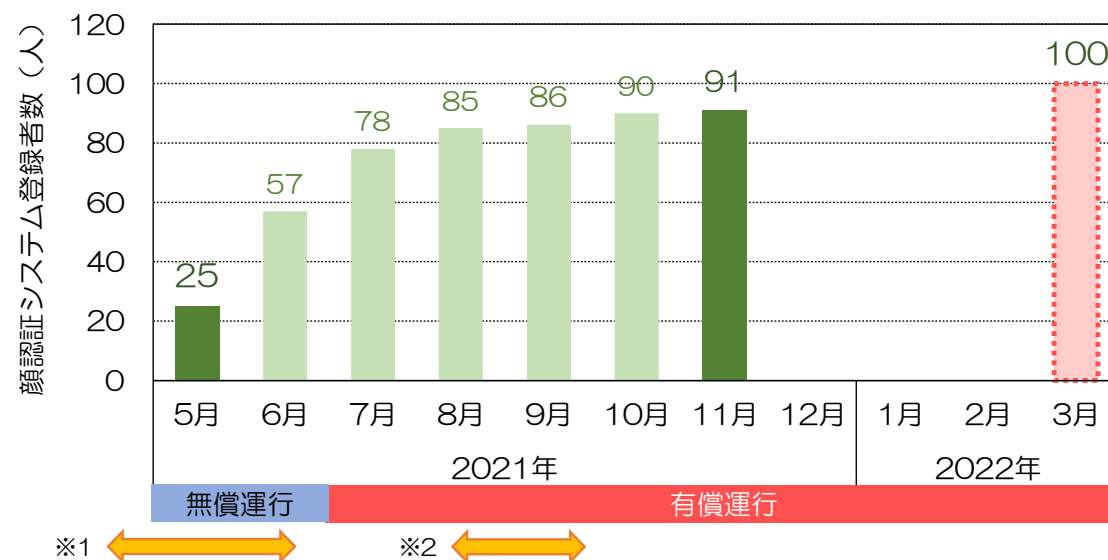
※1：2020年4月7日～5月21日
 ※2：2021年1月14日～2月28日
 ※3：2021年4月25日～6月20日
 ※4：2021年8月20日～9月30日

- ・ 休日特別運行7時～21時における利用者数は、有償運行を開始した2021年7月から10月にかけて大きく減少したものの、2021年11月時点では少し増加し、44人/月である。
- ・ 利用状況を見ると、日曜・祝日の利用が土曜日と比べて少ない状況にあるため、持続可能な交通システムの実現に向けて、需要規模に応じた運行曜日の設定見直しに向けた検討が求められる。

有償実証実験における事業評価の達成状況

評価指標・項目		実績値 (2021.5時点)	実績値 (2021.11時点)	目標値 (2022.3)
3. 顔認証システムに対する評価指標	顔認証システム登録者数	25人	91人	100人

●顔認証システム登録者数の推移（2021年5月以降）



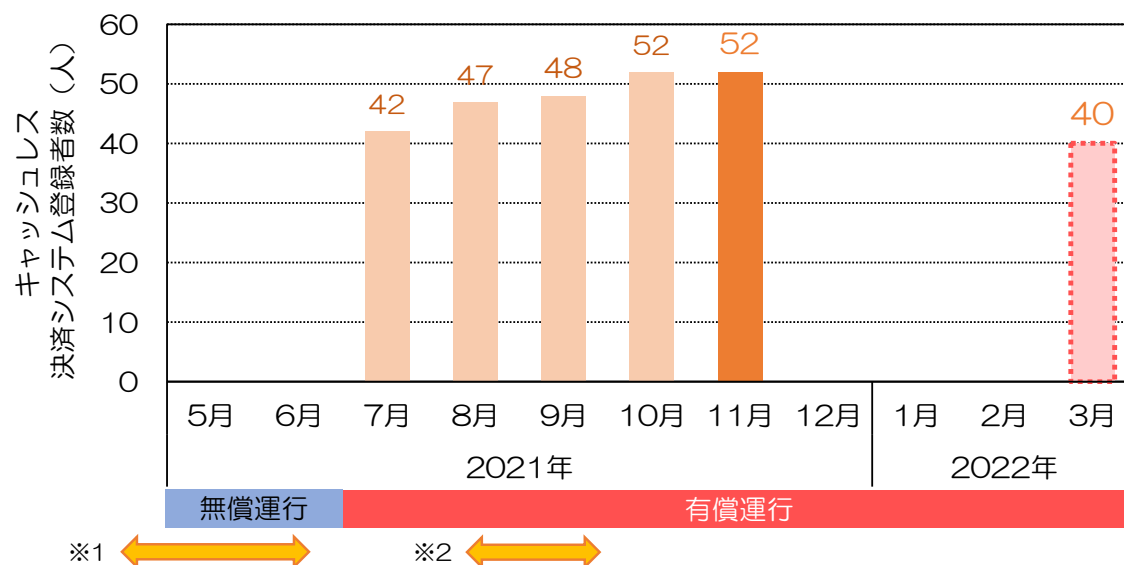
：新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言期間
 ※1：2021年4月25日～6月20日
 ※2：2021年8月20日～9月30日

- 顔認証システム登録者数は、2021年6月から7月に実施した大島地区自治会説明会や日生中央サピエ内にあるチョイソコ予約センターでの立ち上げとして初回登録キャンペーンの実施により、2021年11月時点で91人/月である。
- 目標値の達成に向けて、引き続き顔認証システム登録の促進を行う必要がある。

有償実証実験における事業評価の達成状況

評価指標・項目		実績値 (2021.5時点)	実績値 (2021.11時点)	目標値 (2022.3)
3. 顔認証システムに対する評価指標	キャッシュレス決済システム登録者数	— (無償運行による)	52人	40人

●キャッシュレス決済システム登録者数の推移（2021年5月以降）



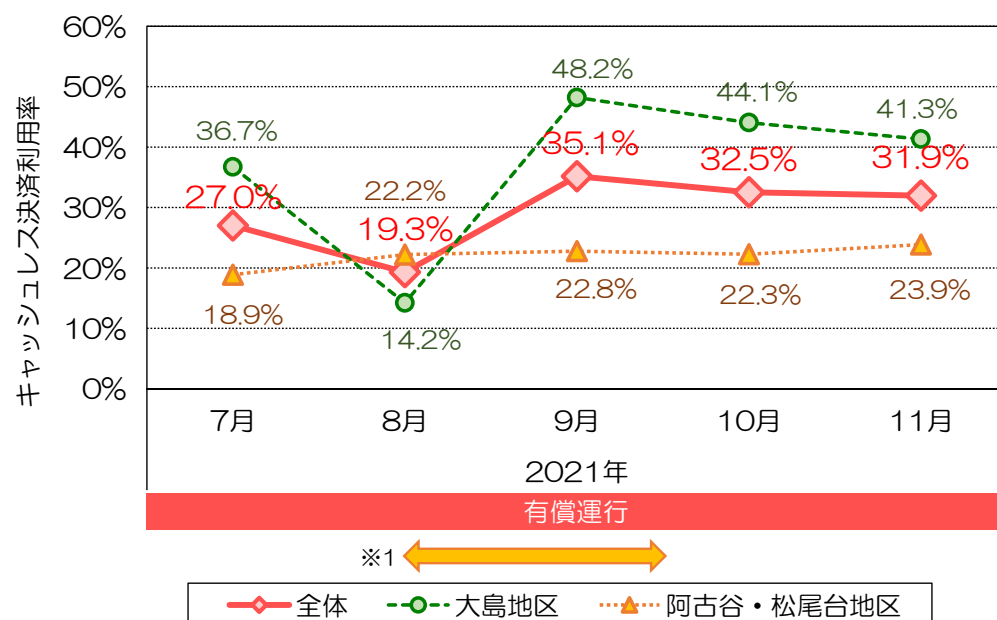
: 新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言期間
 ※1: 2021年4月25日～6月20日
 ※2: 2021年8月20日～9月30日

- キャッシュレス決済システム登録者数は、2021年6月から7月に実施した大島地区自治会説明会や日生中央サピエ内にあるチョイソコ予約センターでの立ち上げとして初回登録キャンペーンの実施により、2021年11月時点で52人/月であり、目標値を達成している。
- 引き続き、キャッシュレス決済システムの周知・新規登録者獲得に向けた取組みの推進を図るものとする。

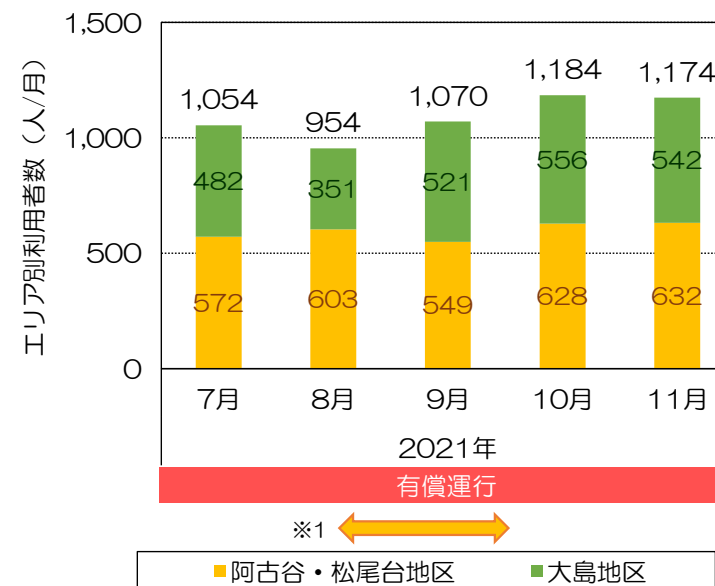
【参考】キャッシュレス決済の利用状況

- チョイソコいながわは、7月からの有償運行の開始に合わせて、顔認証システムを活用したキャッシュレス決済を導入している。
- 11月時点におけるキャッシュレス決済の利用率は32%である（※日本でのキャッシュレス決済比率は2020年で約30%）。

●キャッシュレス決済利用率の推移（有償運行開始以降）



【参考】エリア別利用者数（有償運行開始以降）



【参考】日本のキャッシュレス決済比率

	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年
クレジットカード	15.4%	16.5%	18.0%	19.2%	21.9%	24.0%	25.8%
デビットカード	0.15%	0.14%	0.30%	0.37%	0.44%	0.56%	0.75%
電子マネー	1.3%	1.5%	1.7%	1.7%	1.8%	1.9%	2.1%
QRコード	-	-	-	-	0.05%	0.31%	1.10%
計	16.9%	18.2%	20.0%	21.3%	24.1%	26.8%	29.7%